

一学期を振り返って

僕は、中学校に入学してから、この一学期間とても楽しい時間を過ごせました。新しい仲間がたくさんでき、部活動、体育祭、定期テストなど、中学生として初めての行事に仲間とともに励んできました。その中でも、僕は特に、体育祭が心に残っています。

中学校に入学して、やっと生活に慣れてきたころ、初めての行事である体育祭がありました。体育祭は、クラス全員で取り組む競技が多く、特に、みんなでジャンプは体育委員を中心に、声を掛け合って毎日昼休みにクラス全員で練習しました。そして、

「何組が新記録出したよ」

「よし、自分たちも負けないように頑張ろう」とお互いに競い合いました。僕は回し手だったので、先生にアドバイスをもらったり、先輩方の回し方を参考にしたりして、工夫して回せました。みんなでジャンプを通して、クラスが団結し、協力し合う気持ちが強くなりました。

また、組体操の万里の長城は初めての演技でとても緊張しました。最初は、一、二組の2クラスだけの練習でさえも進むスピードがずれてしまい、本当にできるかと不安になることもありました。全体練習になると、先輩方についていくのが精一杯でした。先輩方の演技は安定していて、来年は自分たちもこんなふうにならなければいけないと思いました。本番では、練習の成果が出て、成功できてよかったです。自分でやっているときは気づきませんでした。家出とってもらったビデオを見たら、万里の長城はとても迫力があり、三学年の力が合わさると、こんなにすごいものができあがるんだと感動しました。

一学期は新しいことばかりでしたが、様々な行事を通して、目標を持つ大切さ、仲間と協力し合う大切さ、そして、仲間に感謝の気持ちをもつ大切さなどを学びました。

二学期は、東中祭など、また新しい行事が待っています。一学期で深めたクラスの絆をさらに深め、二学期も楽しんで生活したいです。